

Title	賛助会員 編集後記 奥付
Sub Title	
Author	遊部, 久蔵
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1950
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.43, No.6 (1950. 12) ,p.450(86)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19501201-0086

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三

以上は本書の概要であるが、本書の最大の功績は、戸谷氏によつて與えられた江戸時代の農村構造に關する類型的な、それ故にやゝ抽象的な理解を更に深めて、各地の資料を豊富に驅使しての實證的研究の上に、あらためて整理を行つた點にあると思ふ。戸谷氏の場合、その余りにも單純化した類型化のために養蠶地帯の多くが東北日本型に入れられたり、或は攝津型阿波型の區分が單に經營收支の面からのみ行われて、商業資本とその地の農業との結びつきの究明が等閑に附されたりした欠點があつたが、本書の著者は商業的農業の發展を、終始その地の農業形態との關連に於いて把え、且つ更に商業的農業の展開の基礎をなす農民層の階層分化の問題にまでつきすゝむことによつて、江戸時代後期の農村構造の變化過程について一應の全國的展望を與えることに成功している。固よりこゝに分析の對象としてとり上げられたのは三つの地方にすぎず（その中で野村博士の「村明細帳の研究」の資料を縦横に驅使しての關東農村の分析は本書中最も精彩に富んでいると思われ）、その他の諸地方については、すべて今後の課題として殘されているし、しかも商業的農業の展開は、各地方々々についてみても、同一地方内部でまた様々の形をとつて現れる。したがつて同一地方の

中の更に各郡、各村にまで検討を加えて後に始めてその地方全體の構造把握も可能になつてくるのであつて、今後一層の地方的實證研究が必要となつてゆくであらう。本書はかゝる今後の研究方向に對して重要な礎石をおいた點において、高く評價されるべきものと思ふ。
(一九五〇、二、一〇)

經濟學會會則に基き委員會の承認を得た

贊助會 員 (敬稱略)

- 青木 晴雄 (内外編物株式會社内)
- 岩田 健三 (大和紡績株式會社東京支店)
- 古村 義人 (日東證券株式會社内)
- 本間 利章 (目黒區三田五十四)
- 近藤 操 (世田谷區代田二ノ七一八)
- 鹿島 新吉 (目黒區上目黒八ノ六八〇)
- 小林 喜一 (ライオン齒磨株式會社内)
- 森岡 賢一郎 (港區芝二本榎西町二)
- 町田 戰三郎 (大日本製糖株式會社内)
- 日本パルプ工業株式會社 (千代田區丸ノ内一ノ二)
- 杉田 信一 (目黒區綠ヶ丘二三七五)
- 杉浦 六右衛門 (千代田區四番町五ノ六)
- 山本 惠造 (中央區日本橋室町一ノ六)

編集後記

この秋以來どの書店へいつても氣付くのは、美しい装幀のニーチェ全集がしかも幾種類も書架をかざつてゐることである。きくところによれば本年八月二五日を以て彼の死後五〇年を經過し著作権が消滅したのでかつてニーチェ・ラッシュとはなつた山である。

これはいかにも自主性のない日本の出版文化のありかたをあらわしたものと云えようが、しかし一面においてはニーチェに「救い」をもとめる一部の人々の内面性の衝動をもみのがしがたいであらう。したがつて現在のニーチェ・ラッシュが單なる狂い咲きとなるかどうかは歴史の審判にまつよりほかないが、いまだニーチェの問題を自らの問題とすべき正當にして充分な精神的地盤のない我國においては、所詮、豪華な全集も此國特有の敬養俗物ども——これこそニーチェの最も唾棄した連中なのだが——の一時的嗜好品としておわる見通しの方がつよそうである。(ひととはこゝに先頃のギェルケゴール・ラッシュの運命を想起せよ。)

だがニーチェ・ラッシュはひとり哲學界だけの問題ではない。同時に我が經濟學界の問題でもあるであらう。いずれにせよ國民的地盤のない「流行」のたどる運命は同一であらう。「なにがための知識ぞ？」ふるくして永遠に新しいこの問いをもう一度くりかえすのも意義あることであらう。

(遊部久藏)

禁轉載

本號定價 金七拾圓
送料 三圓

編輯者 高村 象平
發行所 東京都千代田區神田多町一ノ七
印刷所 東京都目黒區平町一六六
印刷者 大橋 政雄
印刷所 富士精版印刷社

豫約購讀料一年分 金八四〇圓(送料共)
半ケ年分 金四二〇圓(リ)

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さい。
誌代變更の場合は精算決濟致します。
編集に關する用件は發行所へ。
營業に關する用件、購讀申込は發賣所へ願います。

發行所

東京都港區芝三田二丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室内
慶應義塾經濟學會

發賣所

東京都新宿區角筈一丁目八二六番地
紀伊國屋書店
日本出版協會員A二二〇一九